

■内田良平 右翼運動家。国権主義者。{黒龍会}を結成し、海軍軍縮案反対や満蒙独立運動など、政界裏面で活躍。

うちだりょうへい

佐賀の乱・1874= 福岡の大円寺町(福岡市唐人町三丁目)で、\_玄洋社幹部内田良五郎の三男に生まれる。平岡浩太郎の甥。

明治14年政変1881= 7歳 :

岩倉具視没・1883= 9歳 :

帝国憲法発布1889=15歳 :

東洋語学校を卒業。\_若くして大陸進出に望みを抱き、玄洋社に属し、

大本教・・・1892=18歳 :

日清戦争始・1894=20歳 : 東学党応援のため、天佑侠に参加して、朝鮮に渡る。

日清戦争終・1895=21歳 : 三国干渉後、  
\_対露報復のためウラジオストクへ渡り、

八幡製鉄始・1897=23歳 : シベリアを横断し、

子規句歌革新1898=24歳 : \_帰国。宮崎稲天の紹介で、孫文と盟約、以後その支援活動は辛亥革命前後まで続く。

ピアノ国産化・1900=26歳 : \_広州に赴き、孫文・李鴻章提携を斡旋、革命義勇軍を組織して'惠州起義'に備え、

田中正造直訴1901=27歳 : \*大アジア主義と天皇主義を標榜して{黒龍会}を結成し、主幹となる。

露国事情を紹介し、

日比谷公園・1903=29歳 : \*同志と{対露同志会}を結成、対露開戦を主張し、政府・軍部に進言。

日露戦争終・1905=31歳 : 孫文・黄興の提携による中国(革命)同盟会の成立や、またフィリピン独立軍志士アギナルド援助、インド独立志士ラス=ビハリ"ボース庇護にも関係。韓国確保を宿願とし、

満鉄発足・・・1906=32歳 : \_伊藤博文韓国統監に従って渡韓、

\_一進会の李容九らと盟約して'日韓合邦'達成に挺身、

韓国併合・・・1910=36歳 : 朝鮮併合後、小川平吉、宮崎滔天らと有隣会を組織し、中国問題にとりくむ。

\_結果的に日韓併合促進の役割を果たすも、政府の対韓政策には反対、

明治天皇没・1912=38歳 :

第一次大戦始1914=40歳 : 「国民外交同盟」、

\_中華民国政府成立後、中国観を変え、"満蒙の独立"のため川島浪速らと協力、また華北地域工作などにつき政府に進言。大正以後、赤化防止とデモクラシー思想反対の立場から、右翼的傾向を示し、

本格政党内閣1918=44歳 : シベリア出兵主張。米騒動を鎮圧のため{大阪朝日新聞}贖懲運動を起こし、吉野作造と公開論争で敗北。

ベルサイユ条約・1919=45歳 : \_国際間における日本の危急を憂え、パリ平和会議に"人種差別撤廃"を要求、その後、宮中某重大事件、ロシア基金救済運動、排日移民法反対などで活躍。「シベリア出征兵士肅軍断行要求意見書」提出、

原敬首相暗殺1921=47歳 : \_{同光会}を結成して韓国内政の独立を主張。

水平社結成・1922=48歳 : ロシア飢餓救済運動をも行なった。

関東大震災・1923=49歳 : 対米「排日移民法」反対や、

\_ワシントン・ロンドン両会議による海軍軍縮案反対などに国民運動の中心的存在となった。

治安維持法・1925=51歳 : "純正普選運動"などに活躍。加藤高明首相暗殺未遂事件で入獄。

共産党事件・1928=54歳 : {内治外交作振同盟}など、国民運動の形態をとるものが多いが、

満州事変・・・1931=57歳 : \*{大日本生産党}を結成して、総裁となる。{満鮮問題国民同盟}を組織して関東軍支持を声明し、満蒙独立運動を推進。党員は多く青壮年者で、その中核は後に血盟団・神兵隊両事件を起こすことになる。

五一五事件・1932=58歳 : 以降、\_病身を押して活動を続け、

\*"日満蒙連邦建設""日支共存""皇護翼賛運動"を構想したが、

日中戦争始・1937=63歳 : \_没した。

著書・意見書などはきわめて多く、「露西亜亡国論」「支那観」「(皇国史談)日本之亜細亜」「硬石五拾年譜」などのほか、歌集「杜鶴録」や「西南記伝」「東亜先覚志士記伝」などの編纂事業が知られている。